

「第4のがん治療『倉持式』5種複合免疫療法・新樹状細胞獲得免疫ワクチン療法」

講演会のご案内

講演会案内

- ・開催日時 : 11月6日(水) 19:00~21:00
- ・開催場所 : 第一ホテル東京 シーフォート ハーバーサーカス 西 (3F)

- ・演者 : 倉持 恒雄 (せんしんクリニック 血液培養センター長)
「あなたはがんで幸せだ」 がん治療の最先端に行く

- ・演者 : 澤登 雅一 (三番町ごきげんクリニック 院長)
「あきらめない がん治療」

- ・質疑応答

※講演会の申し込み先 : せんしんクリニックホームページからお申し込み下さい。

【 <http://gan911.com/html/> 】

免疫療法とは

本来、私たちの体には「免疫」というシステムが備わっており、侵入してきた細菌やウイルスなどを攻撃、排除しています。がんも例外ではありません。このシステムには様々な「免疫細胞」が関わっており、「自己=自分自身」と「非自己=異物・抗原」を見分けて「非自己」を攻撃・排除しているのです。

体内では、毎日3,000~6,000のがん細胞が発生しています。死因の1位を占め、全死因の3割弱、つまり7割以上の人はがん細胞を持ちながらがんにならないのは、「免疫細胞」が休むことなく働いてがん細胞を退治しているからです。

ところが、加齢やストレスなど様々な要因から「免疫細胞」が衰えてしまうと、がんの発症を防ぎきれなくなります。そこで、弱ってしまった「免疫細胞」を体外へ取り出し、活性化・増殖させて体内に戻し、がんと戦う力を増強させます。この療法を「免疫療法」といいます。

倉持 恒雄 略歴

- 1970年 東京大学医科学研究所入職
- 1971年 米国ミシシッピ大学医学部留学 (文部省留学生)
6年間 米国の医師免許取得
- 1977年 マギール大学 ローヤルビクトリアホスピタル
(カナダ・モントリオール) クリニカルフェロー取得
- 1980年 オレゴン大学医学部内科・免疫部門助教授
- 1984年 聖マリアンナ医科大学 第1内科学講師
- 1985年 大学病院腎センター 免疫科科长 (助教授)
- 2005年 せんしんクリニック開院
現在に至る。

5 種複合免疫療法

せんしんクリニック がん免疫基礎研究所 培養責任者 倉持 恒雄（医学博士）は、1970年代より米国・カナダの医科大学に留学し、免疫学を専攻しました。以来40年以上の研究を重ねて3500人以上のがん患者様の細胞を培養し、がん治療に貢献してまいりました。

その後さらに研究を進め、キラーT細胞・NK細胞に加え、がんを強力に攻撃・破壊するNKT細胞・ γ δ T細胞・樹状細胞を用いる治療法を開発致しました。

これら5種類の細胞を同時に活性化させて数を増やし、免疫を高める治療法が『NKT・NK・ γ δ T・キラーT細胞・樹状細胞 5種複合免疫療法』です。

【国内初。免疫細胞培養技術の特許取得】

せんしんクリニックでは「がん免疫治療用細胞の製造方法」の特許を取得しております。本療法は「活性化自己リンパ球・NK細胞複合免疫療法」を改良し、独自の培養液と特殊な方法を用いております。

国内では初めてのがん免疫治療用細胞の製造方法に関する特許の取得です。

5種複合免疫療法の治療効果の高さが評価された結果です。

2013年5月20日に韓国においても特許を取得しました。



治療実績

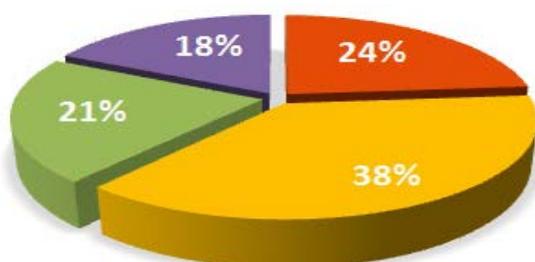
治療前後で患者様の追跡調査が可能だった直近の186名（男性85名、女性101名）の有効率は以下の通りです。（2013年6月現在）

判定基準

- A 判定: 腫瘍が消失した。腫瘍マーカーが下がった。再発の兆しが無い状態。
- B 判定: 腫瘍の大きさ、転移の状況も不変。腫瘍マーカーが下降あるいは横ばいの状態。生活の質が改善された状態。
- C 判定: 治療に関わらず腫瘍が少しずつ増大、腫瘍マーカーも少しずつ上昇しているが、緩やかな進行の状態。
- D 判定: 治療に関係なく進行した状態。

- ・ 治療有効率: 62% (A 判定: 完全・部分寛解24%+B 判定: 長期不変38%)
(治療有効率: 厚生労働省が決定した「がん治療効果」の画像診断等の効果判定数値)
- ・ 186名のうち113名(A+B 62%)が治療有効

直近 185例の有効率



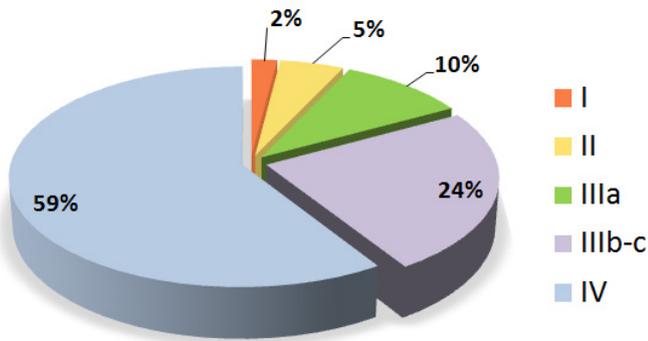
- A判定 完全(CR)・部分寛解(PR) 43名
- B判定 長期不変(Long SD) 70名
- C判定 延命効果(SD) 39名
- D判 (無効) 33名

病期と判定

直近186 例の効果測定結果の病期（ステージ）別内訳

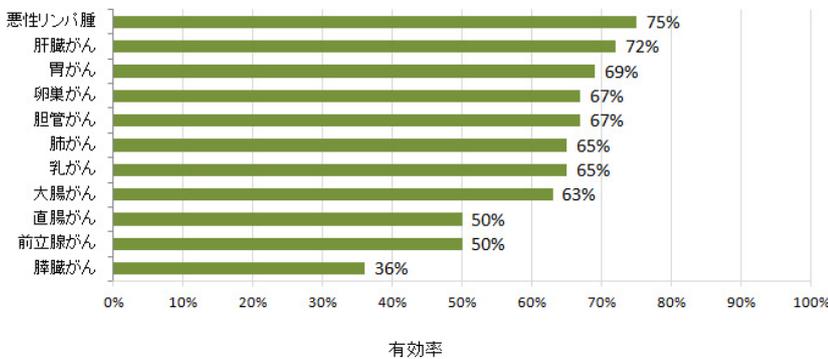
*直近186 例の83%はステージⅢb 以降

- ・ I 期, II 期 早期がん(転移なし)
- ・ III 期, IV 期 進行がん(転移, IV 期 遠隔転移)



	I	II	IIIa	IIIb-c	IV
A	4	2	6	11	21
B	0	6	8	18	37
C	0	1	3	9	27
D	0	1	1	7	24
合計	4	10	18	45	109
%	2%	5%	10%	24%	59%

「倉持式」5 種複合免疫療法の臓器別有効率



1	悪性リンパ腫	75%
2	肝臓がん	72%
3	胃がん	69%
4	卵巣がん	67%
5	胆管がん	67%
6	肺がん	65%
7	乳がん	65%
8	大腸がん	63%
9	直腸がん	50%
10	前立腺がん	50%
11	膵臓がん	36%

細胞の培養から治療までの流れ



※患者様は、採血(30cc)と点滴バッグ(100cc)の投与(2~3週おき)を6回行います。

投与方法

100ml の生理食塩水の入った点滴用バッグ(免疫細胞浮遊液)に輸血セットを連結して静脈内に点滴します。投与時間は20～30 分です。

投与スケジュール

- ・初回採血から3 週間後、点滴による1 回目の治療を開始します。
- ・2 回目以降は2～3 週間ごとに採血と点滴を行い、外来で計6 回の点滴治療を実施します。
- ・採血 (30cc) は点滴の前に行います。
- ・治療期間は約3～4 ヶ月です。

副作用

がん患者様によっては一過性の軽度の発熱 (37～38℃) がごく僅かな方にみられることがあります。本療法は患者様ご自身の免疫細胞ですので、副作用による苦痛はほとんどありません。

費用のご案内

・5種複合免疫療法

- 1回投与分 : 262,500 円 (消費税込)
1投与(262,500 円)ごとの支払いです。
- 6回投与(1クール) : 1,575,000 円 (消費税込)

・新樹状細胞獲得免疫ワクチン療法

- 1回投与分 : 294,000 円 (消費税込)
1投与(294,000 円)ごとの支払いです。
- 6回投与(1クール) : 1,764,000 円 (消費税込)